

4月定例活動

山根口竹の除伐 & 総会



10周年を迎えた最初の定例活動は、4月26日(土)朝からしよぼしよぼ降る雨の中での活動となりました。原因は三河湾から東濃地方にかけて南から流れる雨雲の影響で、知多や三河に大雨警報が出る春の嵐の天候です。

春を迎えてモウソウのタケノコが元氣よく伸び始めているなか、山根口に近い雑木林の斜面に竹が侵入するのを

防ぐために竹林と雑木林の境界を決めて、境界から上部の竹をすべて刈り取る作業を行いました。

雨の中の作業ということで参加者が少ないのではと心配しましたが、そこは森くらぶの面々、合羽での作業は慣れたもの。ノコギリと剪定ばさみを持って作業開始。普段はあまり気にしていなかったが、雨で濡れた竹の幹は砂埃がついて真っ黒の汁をたらし、手袋やズボンが真っ黒に。きつく、つらい作業も、きれいになっていく竹林の様子を確認できるようになると、「あと少し。」と元氣が出てくるから、不思議だ。

竹林との境界付近に積み上げられた竹の山が、きれいな竹の柵になり、作業は終わり。活動の後半には河野さんの知り合いのドイツからの若者が二人くらぶの活動を見学を訪れ、昼ごはんまで一緒しました。

結局作業中降り続いた雨は昼を過ぎて小雨になりましたが、総会を森の中で開くのは少し不安があったので、森さんに頼んで、急遽相生小の研修室で

午後1時から総会を開催しました。

総会は、19年度の活動報告と決算、20年度の活動計画と予算を審議し、最後に役員体制は前年とおりで約1時間程度で終了。

再度小屋に戻り、道具の手入れを行い解散となりました。



▲除伐した竹を整然と積み上げてできた竹林と雑木林の境界柵

役員体制は以下のとおりです。

- | | |
|------------|-------|
| ○会長 | 大館 学 |
| ○副会長・運営委員長 | 真弓 浩二 |
| ○書記 | 近藤 眞史 |
| ○会計 | 村田 英二 |
| ○会計監査 | 森 勝 |
| ○副運営委員長 | 永田 修二 |
- (大館)

5月定例活動

小屋周辺整備



前日は夏日、一転して曇天の朝、予報は午後から雨でした。すでに集合時刻前から大館さんがメープル材を黒くなるまで焼く作業を始めていました。

私たちは先ずウッドデッキをサンドペーパーで丁寧に磨き、汚れを取った後、

防腐剤を塗布しました。去年、新調したときのように美しくなりました。土台を黒く焼き、デッキには物を置かずの使い方がよい状態を保っているようです。



▲何かと重宝なウッドデッキは毎年しっかりメンテナンスして良好な状態を保つ

一方、小径の整備は朽ちた階段をメープルの角材を焼いたものと置き換え、固定の為、先を尖らせた杭で押さえ歩き易い階段を再生しました。メープル材4本で新しい「橋も」入り口に設営されました。

3月末に村田さんの植え付けたジャガイモも可憐な花を咲かせていて数週間の内に収穫できそうです。



▲可憐なジャガイモの花

ビートルアパートの中も立派なカブトムシの幼虫が成長しています。小屋横の角材にはハチが巣を作っていて、森の中の生物もどんどん育っているのを実感しました。

11名の参加者でしたが、予定の作業を終えた頃、雨が降り出し解散となりました。(河野)